

地区名 秋田市

所在地 秋田市飯岡山・下谷地

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × 水のはたらき

露頭までの道のり

秋田北インターを出て、最初の交差点を右折して北上し、下新城岩城付近で左折、下谷地地区へ向かう。田んぼの中にぼつんと見えるところが観察場所となる。道は狭い。

安全上の留意点

工事現場となっているため工事車両などには十分注意が必要。観察場所が広く、死角になりやすい箇所もあるので、活動範囲を制限するなど児童を掌握する工夫が必要。

飯岡山側の露頭には、ゴミの不法投棄禁止を呼びかける立て看板もあるので、落ちていたゴミなどを触らないように注意させたい。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③川原で見えるような円礫があること。
- ④角ばった火山岩が見あたらないこと。

地質年代

第四紀更新世後期(1~15万年前)

露頭概観

指導形式

A,B,C

解説

右の写真は、飯岡山側の露頭である。笹岡層と呼ばれる砂岩層の上部に、潟西層と呼ばれる円礫を含む層が乗っている。笹岡層(ほとんど砂だけの層)は、この写真より右側の低いところに広がっていると見られる。露頭のどの場所からも砂や泥、角の取れた丸い礫が見られるため「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。地層は柔らかく、児童の持っている移植ベラで掘ることができるため、地層が奥まで続くことを確かめさせる活動が行える。

(筆者独自調査)



角の取れた丸い円礫が多量に存在する層が上部にあり、それが崩れて地面に点在している。「水のはたらき」でできた大地であることの材料となる。



工事現場のため重機が崖を崩した跡があるが、これを利用して地層は奥まで続いていることを確かめさせることもできそう。



下谷地地区にも露頭がある。これも潟西層だと見られる。下部の笹岡層は、この露頭からだとは分らない。